



CHAPTER 106

エンドユーザの設定

Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウを使用すると、システム管理者は、Cisco Unified Communications Manager エンドユーザに関する情報を追加、検索、表示、および保持することができます。

- Cisco Unified Communications Manager のエンドユーザディレクトリとして LDAP 企業ディレクトリを使用するようにシステムを設定した場合、Cisco Unified Communications Manager の管理ページではユーザの追加または削除ができません。企業 LDAP ディレクトリでエンドユーザを追加および削除してください。
- LDAP ディレクトリを使用してユーザを認証するようにシステムを設定した場合、Cisco Unified Communications Manager の管理ページではエンドユーザパスワードの設定または変更ができません。企業 LDAP ディレクトリでエンドユーザパスワードを設定および変更してください。

次のトピックでは、エンドユーザディレクトリ情報の管理について説明します。

- [エンドユーザの検索 \(P.106-2\)](#)
- [エンドユーザの設定 \(P.106-4\)](#)
- [Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメールボックスの作成 \(P.106-6\)](#)
- [エンドユーザの設定値 \(P.106-8\)](#)
- [エンドユーザのパスワードの変更 \(P.106-14\)](#)
- [エンドユーザの PIN の変更 \(P.106-15\)](#)
- [エンドユーザのクレデンシャルの管理 \(P.106-16\)](#)
- [クレデンシャルの設定値とフィールド \(P.106-17\)](#)
- [エンドユーザのユーザ関連情報の設定 \(P.106-19\)](#)
- [エンドユーザとデバイスとの関連付け \(P.106-21\)](#)
- [Cisco Extension Mobility プロファイルの関連付け \(P.106-24\)](#)
- [エンドユーザの削除 \(P.106-25\)](#)

追加情報

P.106-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

エンドユーザの検索

Cisco Unified Communications Manager では、固有の条件を指定して、エンドユーザの情報を検索できます。エンドユーザの情報を検索する手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択します。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ステップ 3](#) に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウンリストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウンリストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

すべてのレコード、または一致したレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウンリストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.106-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

エンドユーザの設定

エンドユーザを追加し、設定する手順は、次のとおりです。



(注)

LDAP サーバとの同期が使用可能でない場合に限り、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでエンドユーザ情報を変更できます。同期が使用不可の場合、新しいユーザを Cisco Unified Communications Manager データベースに追加したり、既存のユーザの設定（ユーザ ID を含む）を変更したりできます。LDAP 同期が使用可能になっていないことを確認するには、[システム] > [LDAP] > [LDAP システム] メニュー オプションを使用します。表示される [LDAP システムの設定 (LDAP System Configuration)] ウィンドウで、[LDAP サーバからの同期を有効にする (Enable Synchronizing from LDAP Server)] チェックボックスがオフであることを確認します。

同期が使用可能の場合、エンドユーザの追加、エンドユーザの削除、既存のユーザ ID の変更はできません。ただし、エンドユーザのその他すべての設定値は、[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで変更できます。

LDAP 認証が使用可能でない場合に限り、エンドユーザ パスワードを変更できます。LDAP 認証が使用可能になっていないことを確認するには、[システム] > [LDAP] > [LDAP 認証] メニュー オプションを使用します。表示される [LDAP 認証 (LDAP Authentication)] ウィンドウで、[エンドユーザに LDAP 認証を使用 (Use LDAP Authentication for End Users)] チェックボックスがオフであることを確認します。LDAP 認証が使用可能でない場合、エンドユーザ パスワード、PIN、およびその他の設定値を [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで変更できます。

LDAP 認証が使用可能な場合でも、エンドユーザの PIN およびその他のすべてのエンドユーザ設定値（パスワード以外）を [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで変更できます。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページのエンドユーザは、Cisco Unity ユーザまたは Cisco Unity Connection ユーザと同様に、[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウの [Cisco Unity ユーザの作成] オプションで設定できます。その後は、その他の設定値を Cisco Unity システム管理または Cisco Unity Connection の管理で設定できます。

手順

ステップ 1 [ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択します。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。2 つのドロップダウン リスト ボックスを使用して、エンドユーザを検索します。

ステップ 2 [新規追加] をクリックします。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 106-1 を参照)。

ステップ 4 エンドユーザ情報の入力を完了したら、[保存] をクリックし、変更内容を保存してエンドユーザを追加します。

次の手順

このエンドユーザにデバイスを関連付ける場合は、後述の [P.106-21](#) の「[エンドユーザとデバイスとの関連付け](#)」の手順に進みます。

このエンドユーザのクレデンシャルを管理する場合は、後述の [P.106-16](#) の「[エンドユーザのクレデンシャルの管理](#)」の手順に進みます。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、このユーザの Cisco Unity または Cisco Unity Connection ボイスメールボックスを作成する場合は、後述の [P.106-6](#) の「[Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメールボックスの作成](#)」の手順に進みます。



(注)

エンドユーザの Unity Connection メールボックスを作成する前に、エンドユーザの電話デバイスとの関連付けとプライマリ内線を設定し、Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity Connection の間の SCCP 統合を完了させておく必要があります。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。

追加情報

[P.106-27](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメールボックスの作成

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの [Cisco Unity ユーザの作成] リンクを使用すると、Cisco Unified Communications Manager の管理ページから個々に Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメールボックスを作成できます。



(注) [Cisco Unity ユーザの作成] リンクは、Cisco Unity 管理者が適切なソフトウェアをインストールして設定した場合に限り、表示されます。該当する『Cisco Unified Communications Manager Integration Guide for Cisco Unity』または『Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide for Cisco Unity Connection』を参照してください。

始める前に

- ボイス メッセージ用に Cisco Unified Communications Manager を設定します。『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unity と Cisco Unity Connection の設定チェックリスト」を参照してください。
- 統合メールボックス機能を使用するために、Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Connection サーバを設定します。該当する『Cisco Unified Communications Manager Integration Guide for Cisco Unity』または『Cisco Unified Communications Manager Integration Guide for Cisco Unity Connection』を参照してください。
- Cisco Unity Cisco Unified Communications Manager Integrated Voice Mailbox Configuration が Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Connection サーバで使用可能になっていることを確認します。
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページで追加しようとするボイスメールユーザに対する、適切なテンプレートとサービス クラス (COS) を定義したことを確認します。Connection ユーザの場合は、該当する『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』を参照してください。Unity ユーザの場合は、『Cisco Unity システム アドミニストレーションガイド』を参照してください。
- [Cisco Unity ユーザの作成] リンクを表示するには、デバイスおよびプライマリ内線番号をエンドユーザに関連付けておきます。リンクは、[関連リンク] メニューに表示されます。



(注) [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウにも [Cisco Unity ユーザの作成] リンクがあります。

手順

ステップ 1 エンドユーザを検索します (P.106-2 の「エンドユーザの検索」を参照)。

ステップ 2 プライマリ内線番号が、このユーザに関連付けられていることを確認します。



(注) プライマリ内線を定義したことを確認してください。定義していないと、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスに [Cisco Unity ユーザの作成] リンクが表示されません。

ステップ 3 ウィンドウの右上隅にある [関連リンク] ドロップダウンリスト ボックスから、[Cisco Unity ユーザの作成] リンクを選択し、[移動] をクリックします。

[Cisco Unity ユーザの追加 (Add Cisco Unity User)] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 [アプリケーションサーバ (Application Server)] ドロップダウンリスト ボックスから、Cisco Unity ユーザまたは Cisco Unity Connection ユーザを作成する Cisco Unity サーバまたは Cisco Unity Connection サーバを選択し、[次へ] をクリックします。

ステップ 5 [ユーザテンプレート (Subscriber Template)] ドロップダウンリスト ボックスから、使用する登録者テンプレートを選択します。

ステップ 6 [保存] をクリックします。

Cisco Unity メールボックスが作成されます。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで、[関連リンク]内のリンクが[Cisco Unity ユーザの編集]に変わります。これで、Cisco Unity の管理または Cisco Unity Connection の管理で作成したユーザが表示されるようになります。



(注)

Cisco Unity ユーザまたは Cisco Unity Connection ユーザが Cisco Unified Communications Manager エンドユーザと統合された場合、Cisco Unity システム管理または Cisco Unity Connection の管理では[エイリアス] (Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [ユーザ ID (User ID)]、[名]、[姓]、[内線] (Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [プライマリ内線 (Primary Extension)]) の各フィールドを編集できません。これらのフィールドは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでのみ更新できます。



(注)

Cisco Unity および Cisco Unity Connection は、Cisco Unified Communications Manager からのデータの同期を監視します。Cisco Unity システム管理または Cisco Unity Connection の管理の [ツール] メニューで、同期時間を設定できます。詳細については、Cisco Unity Connection の場合は、該当する『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』を参照してください。Cisco Unity の場合は、『Cisco Unity System アドミニストレーションガイド』を参照してください。

追加情報

P.106-27 の「関連項目」を参照してください。

エンドユーザの設定値

表 106-1 では、エンドユーザの設定値について説明します。関連する手順については、P.106-27 の「関連項目」を参照してください。

表 106-1 エンドユーザの設定値

フィールド	説明
[ユーザ情報 (User Information)]	
[LDAP 同期状態 (LDAP Sync Status)]	このフィールドには、[システム] > [LDAP] > [LDAP システム] メニュー オプションで設定した、LDAP 同期の状況が表示されます。
[ユーザ ID]	エンドユーザの固有の識別名を入力します。 LDAP サーバとの同期が使用可能でない場合に限り、ユーザ ID を変更できます。同期が使用可能である場合、ユーザ ID を表示できますが、変更することはできません。 同期が使用不可の場合、Cisco Unified Communications Manager 5.0 以降のリリースでは、作成後にユーザ ID を変更できます。
[パスワード (Password、半角英数字のみ)] / [クレデンシャルの編集]	このフィールドは、LDAP 認証が使用可能な場合、表示されません。 エンドユーザパスワードとなる英数字または特殊文字を入力します。割り当てられたクレデンシャルポリシーで指定されている、最小文字数 (1 ~ 127 文字) 以上を入力する必要があります。 [クレデンシャルの編集] ボタンは、このユーザをデータベースに追加した後で表示されます。このユーザのクレデンシャルを管理するには、[クレデンシャルの編集] ボタンをクリックします。P.106-16 の「エンドユーザのクレデンシャルの管理」を参照してください。
[パスワードの確認 (Confirm Password、半角英数字のみ)]	このフィールドは、LDAP 認証が使用可能な場合、表示されません。 エンドユーザのパスワードをもう一度入力します。
[PIN (PIN、半角数字のみ)] / [クレデンシャルの編集]	エンドユーザの PIN となる英数字を入力します。割り当てられたクレデンシャルポリシーで指定されている、最小文字数 (1 ~ 127 文字) 以上を入力する必要があります。 [クレデンシャルの編集] ボタンは、このユーザをデータベースに追加した後で表示されます。このユーザのクレデンシャルを管理するには、[クレデンシャルの編集] ボタンをクリックします。P.106-16 の「エンドユーザのクレデンシャルの管理」を参照してください。
[PINの確認 (Confirm PIN、半角数字のみ)]	PIN をもう一度入力します。
[姓]	エンドユーザの姓を入力します。
[ミドルネーム (Middle name)]	エンドユーザのミドルネームを入力します。
[名]	エンドユーザの名を入力します。
[電話番号 (Telephone Number)]	エンドユーザの電話番号を入力します。特殊文字 ((,)、および -) を使用できます。

表 106-1 エンドユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[メール ID (Mail ID)]	エンドユーザの電子メールアドレスを入力します。
[マネージャのユーザ ID (Manager User ID)]	エンドユーザ マネージャ ID のユーザ ID を入力します。入力するマネージャ ユーザ ID は、ディレクトリ内にエンドユーザとして指定済みでなければなりません。
[部署名]	エンドユーザの所属部門の情報 (たとえば、所属部門の番号や名称など) を入力します。
[ユーザロケール (User Locale)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、そのエンドユーザに関連したロケールを選択します。そのユーザ ロケールは、言語とフォントを含んだ、エンドユーザをサポートする一連の詳細情報を識別します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、このロケールをエクステンション モビリティおよび Cisco Unified IP Phone ユーザ オプションに使用します。Cisco Extension Mobility ログインでは、ここに指定されているロケールが、デバイスおよびデバイス プロファイルの設定よりも優先されます。Cisco Extension Mobility ログオフでは、Cisco Unified Communications Manager は、デフォルト デバイス プロファイルに指定されたエンドユーザ ロケールを使用します。</p> <p> (注) エンド ユーザ ロケールを選択しない場合は、Cisco CallManager サービス パラメータでデフォルト ユーザ ロケールとして指定されているロケールが適用されます。</p>
[割り当てられた PC (Associated PC)]	この必須フィールドは、Cisco IP Softphone および Cisco Unified Communications Manager Attendant Console のユーザに適用されます。
[ダイジェスト信用証明書 (Digest Credentials)]	<p>一連の英数字を入力します。</p> <p>ダイジェスト認証中に Cisco Unified Communications Manager は、ここで指定したダイジェスト信用証明書を使用して、電話機が提供するクレデンシャルを検証します。[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウでダイジェスト ユーザを選択すると、このフィールドに入力するダイジェスト信用証明書が電話機に関連付けられます。</p> <p> (注) ダイジェスト認証の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>
[ダイジェスト信用証明書の確認 (Confirm Digest Credentials)]	ダイジェスト信用証明書を正しく入力したことを確認するために、このフィールドにそのクレデンシャルを再入力します。

表 106-1 エンドユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[デバイスの割り当て (Device Associations)]	
[制御するデバイス (Controlled Devices)]	<p>デバイスが関連付けられた後に、このフィールドには、エンドユーザが制御する説明情報 (たとえば、MAC アドレスなど) が表示されます。</p> <p>このフィールドは、データベース内にユーザを作成した後で表示されます。デバイスをこのエンドユーザに関連付けるには、右側にある [デバイスの割り当て] ボタンをクリックします。詳細な手順については、P.106-21 の「エンドユーザとデバイスとの関連付け」を参照してください。</p>
[エクステンションモビリティ (Extension Mobility)]	
[使用可能なプロファイル (Available Profiles)]	<p>このリストボックスには、このエンドユーザとの関連付けに使用できるエクステンションモビリティプロファイルが表示されます。</p> <p>エクステンションモビリティプロファイルを検索するには、[検索] をクリックします。表示される [デバイスプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List Device Profiles)] ウィンドウを使用して、必要なエクステンションモビリティプロファイルを検索します。</p> <p>エクステンションモビリティプロファイルをこのエンドユーザに関連付けるには、プロファイルを選択し、このリストボックスの下にある下矢印をクリックします。</p>
[制御するプロファイル (Controlled Profiles)]	Cisco Extension Mobility に設定されたエンドユーザに関連付けられた、制御されるデバイスプロファイルのリストが、このフィールドに表示されます。
[デフォルトのプロファイル (Default Profile)]	ドロップダウンリストボックスから、このエンドユーザのデフォルトのエクステンションモビリティプロファイルを選択します。
[プレゼンスグループ (Presence Group)]	<p>このフィールドには、プレゼンス機能を設定します。</p> <p>ドロップダウンリストボックスから、エンドユーザ用のプレゼンスグループを選択します。選択したグループによって、エンドユーザが監視できる対象が指定されます。</p> <p>[プレゼンスグループ (Presence Group)] のデフォルト値は、インストール時に設定された [Standard Presence group] です。Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定されたプレゼンスグループもドロップダウンリストボックスに表示されます。</p> <p>プレゼンス認可は、プレゼンスグループと連携して、グループ間のプレゼンス要求を許可またはブロックします。グループ間の権限の設定、およびプレゼンスをエクステンションモビリティと連携させる方法については、『<i>Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド</i>』の「プレゼンス」の章を参照してください。</p>

表 106-1 エンドユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)]	<p>プレゼンス機能でサポートされている SUBSCRIBE コーリングサーチスペースによって、Cisco Unified Communications Manager がエンドユーザからのプレゼンス要求をルーティングする方法が決まります。この設定により、エンドユーザのプレゼンス (SUBSCRIBE) 要求に対して、コール処理サーチスペースとは別のコーリングサーチスペースを適用できます。</p> <p>ドロップダウンリストボックスから、エンドユーザのプレゼンス要求に使用する SUBSCRIBE コーリングサーチスペースを選択します。Cisco Unified Communications Manager の管理で設定したすべてのコーリングサーチスペースが、[SUBSCRIBE コーリングサーチスペース (SUBSCRIBE Calling Search Space)] ドロップダウンリストボックスに表示されます。</p> <p>ドロップダウンリストからエンドユーザ用の別のコーリングサーチスペースを選択しない場合、SUBSCRIBE コーリングサーチスペースは、デフォルトで [なし] に設定されます。</p> <p>この用途専用の SUBSCRIBE コーリングサーチスペースを設定するには、すべてのコーリングサーチスペースと同じようにコーリングサーチスペースを設定します。コーリングサーチスペースの設定方法については、P.46-1 の「コーリングサーチスペースの設定」を参照してください。</p>
[CTI からデバイスを制御可能 (Allow Control of Device from CTI)]	<p>[CTI からデバイスを制御可能 (Allow Control of Device from CTI)] : このチェックボックスをオンにすると、ユーザがデバイスにログインしたときに AllowCTIControlFlag デバイスプロパティがアクティブになり、それによって CTI アプリケーションからのデバイスの制御が可能になります。ユーザがデバイスにログインするまで、この設定値は無効です。</p> <p> (注) [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] の [CTI からデバイスを制御可能 (Allow Control of Device from CTI)] の設定値は、ユーザがログインするデバイスの AllowCTIControlFlag デバイスプロパティを上書きします。</p>
[電話番号の割り当て (Directory Number Associations)]	
[プライマリ内線 (Primary Extension)]	<p>このフィールドは、エンドユーザのプライマリ電話番号を表します。エンドユーザは、電話機に複数の回線を設定できます。</p> <p>デバイスをエンドユーザに関連付けると、関連付けられたデバイスに設定されている電話番号が、[プライマリ内線 (Primary Extension)] ドロップダウンリストボックスで使用可能になります。ドロップダウンリストボックスから、このエンドユーザのプライマリ内線を選択します。</p> <p>システムが Cisco Unity または Cisco Unity Connection に統合されている場合、[関連リンク] メニューに [Cisco Unity ユーザの作成] リンクが表示されます。</p>

表 106-1 エンドユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[IPCC 内線 (IPCC Extension)]	<p>ドロップダウン リスト ボックスから、このエンドユーザの IPCC 内線を選択します。</p> <p> (注) このフィールドは、IPCC Express Installed エンタープライズ パラメータが [True] に設定されている場合にだけ表示されます。</p>
[モビリティ情報 (Mobility Information)]	
[モビリティの有効化 (Enable Mobility)]	<p>モバイル コネクトをアクティブ化するには、このチェックボックスをオンにします。モバイル コネクトを使用すると、ユーザが 1 つの電話番号を使用してコールを管理したり、デスクトップ電話機および携帯電話で進行中のコールをピックアップできるようにになります。</p> <p>このチェックボックスをオンにすると、2 つのデバイス ライセンス ユニットが消費されます (『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ライセンシング」を参照)。</p>
[モバイルボイスアクセスの有効化 (Enable Mobile Voice Access)]	<p>モバイル ボイス アクセスの Integrated Voice Response (IVR; 自動音声応答) システムにユーザがアクセスし、モバイル コネクト コールを発信したり、モバイル コネクト機能をアクティブ化または非アクティブ化したりできるようにするには、このチェックボックスをオンにします。</p>
[デスクピックアップの最大待機時間 (Maximum Wait Time for Desk Pickup)]	<p>携帯電話からデスクトップ電話機に転送されたコールを、ユーザがピックアップできる最大時間をミリ秒単位で入力します。</p>
[リモート接続先の制限 (Remote Destination Limit)]	<p>ユーザが、デスクトップ電話機からコールを転送できる電話機の最大数を入力します。</p>
[リモート接続先プロファイル (Remote Destination Profiles)]	<p>このフィールドは読み取り専用で、このユーザ用に作成されたリモート接続先プロファイルのリストが表示されます。</p>
[アクセスリスト (Access Lists)]	<p>このフィールドは読み取り専用で、このユーザ用に作成されたアクセス リストが表示されます。</p>
[CAPF 情報 (CAPF Information)]	
[割り当てられている CAPF プロファイル (Associated CAPF Profiles)]	<p>このペインには、このユーザ用に設定した CAPF プロファイルのインスタンス ID が表示されます。プロファイルを表示または更新するには、インスタンス ID をダブルクリックするか、インスタンス ID をクリックして選択してから [詳細の表示] をクリックします。[エンドユーザ CAPF プロファイルの設定 (End User CAPF Profile Configuration)] ウィンドウが表示され、現在の設定が表示されます。</p> <p>エンドユーザ CAPF プロファイルの設定方法については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。</p>

表 106-1 エンドユーザの設定値 (続き)

フィールド	説明
[権限情報 (Permissions Information)]	
[グループ (Groups)]	<p>このリスト ボックスは、エンド ユーザ レコードが保存された後で表示されます。このリスト ボックスには、エンド ユーザが属するグループが表示されます。</p> <p>ユーザを 1 つ以上のグループに追加するには、[ユーザグループに追加] ボタンをクリックします。[ユーザグループの検索と一覧表示 (Find and List User Groups)] ウィンドウが別ウィンドウで表示されます。ユーザを追加するグループを見つけて、そのグループの横にあるチェックボックスをオンにします。次に、ウィンドウの下部にある[選択項目の追加] をクリックします。[ユーザグループの検索と一覧表示 (Find and List User Groups)] ウィンドウが閉じ、[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択したグループが[グループ (Groups)] リスト ボックスに表示されます。</p> <p>グループからユーザを削除するには、[グループ (Groups)] リスト ボックスでグループを選択し、[ユーザグループから削除] ボタンをクリックします。</p> <p>グループを表示または更新するには、グループ名をダブルクリックするか、グループ名をクリックして選択してから[詳細の表示] をクリックします。[ユーザグループの設定 (User Group Configuration)] ウィンドウが表示され、現在の設定が表示されます。</p> <p>ユーザグループの検索および設定の詳細については、P.108-1 の「ユーザグループの設定」 を参照してください。</p>
[権限 (Roles)]	<p>このリスト ボックスは、エンド ユーザが追加され、[グループ (Groups)] リスト ボックスにデータが入力され、ユーザ レコードが保存された後で表示されます。このリスト ボックスには、エンド ユーザに割り当てられている権限が表示されます。</p> <p>権限を表示または更新するには、権限名をダブルクリックするか、権限名をクリックして選択してから[詳細の表示] をクリックします。[権限の設定 (Role Configuration)] ウィンドウが表示され、現在の設定が表示されます。</p> <p>権限を設定する方法の詳細については、P.107-1 の「権限の設定」 を参照してください。</p>

エンドユーザのパスワードの変更

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでエンドユーザのパスワードを変更する手順は、次のとおりです。



(注) LDAP 認証が使用可能な場合、エンドユーザのパスワードは変更できません。

手順

- ステップ 1** P.106-2 の「[エンドユーザの検索](#)」の手順を使用して、エンドユーザの設定を検索します。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに、設定情報が表示されます。
- ステップ 2** [パスワード (Password、半角英数字のみ)] フィールドで、暗号化されている既存のパスワードをダブルクリックし、新しいパスワードを入力します。割り当てられたクレデンシャル ポリシーで指定されている、最小文字数 (1 ~ 127 文字) 以上を入力する必要があります。
- ステップ 3** [パスワードの確認 (Confirm Password、半角英数字のみ)] フィールドで、暗号化されている既存のパスワードをダブルクリックし、新しいパスワードをもう一度入力します。
- ステップ 4** [保存] をクリックします。

追加情報

P.106-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

エンドユーザの PIN の変更

エンドユーザの Personal Identification Number (PIN; 個人識別番号) を変更する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 P.106-2 の「[エンドユーザの検索](#)」の手順を使用して、エンドユーザの設定を検索します。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに、設定情報が表示されます。

ステップ 2 [PIN (PIN、半角数字のみ)] フィールドで、暗号化されている既存の PIN をダブルクリックし、新しい PIN を入力します。割り当てられたクレデンシャル ポリシーで指定されている、最小文字数 (1 ~ 127 文字) 以上を入力する必要があります。

ステップ 3 [PIN の確認 (Confirm PIN、半角数字のみ)] フィールドで、暗号化されている既存の PIN をダブルクリックし、新しい PIN をもう一度入力します。

ステップ 4 [保存] をクリックします。

追加情報

P.106-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

エンドユーザのクレデンシャルの管理

エンドユーザのクレデンシャル（関連付けられた認証ルール、関連付けられたクレデンシャルポリシー、パスワードの最終変更時間など）を変更または表示する手順は、次のとおりです。ユーザのクレデンシャルを編集できるのは、ユーザがデータベースに存在している場合のみです。

[クレデンシャル設定 (Credential Configuration for) :] ウィンドウで、割り当てられたクレデンシャルポリシーと衝突する設定を保存することができません。たとえば、ポリシーで [期限切れなし (Never Expires)] チェックボックスがオンの場合、[クレデンシャル設定 (Credential Configuration for) :] ウィンドウで [無期限にする (Does Not Expire)] チェックボックスをオフにして保存することはできません。ただし、[期限切れなし (Never Expires)] ポリシー設定がオンでない場合、ユーザに別のクレデンシャル期限を設定することはできます ([無期限にする (Does Not Expire)] を含む)。この場合、ユーザ設定がポリシー設定よりも優先されます。

[クレデンシャル設定 (Credential Configuration for) :] ウィンドウの他の設定と衝突するような [クレデンシャル設定 (Credential Configuration for) :] ウィンドウの設定変更はできません。たとえば、[ユーザは変更不可 (User Cannot Change)] チェックボックスがオンの場合は、[ユーザは次回ログイン時に変更する必要あり (User Must Change at Next Login)] チェックボックスをオンにできません。

[クレデンシャル設定 (Credential Configuration for) :] には、イベントのおよその回数が表示されます。このフォームは、次に認証クエリーまたはイベントが発生したときに更新されます。

始める前に

データベースにエンドユーザを作成します。[P.106-4](#)の「[エンドユーザの設定](#)」を参照してください。

手順

ステップ 1 [P.106-2](#)の「[エンドユーザの検索](#)」の手順を使用して、エンドユーザの設定を検索します。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに、設定情報が表示されます。

ステップ 2 パスワード情報を変更または表示するには、[パスワード (Password、半角英数字のみ)] フィールドの横にある [クレデンシャルの編集] ボタンをクリックします。PIN 情報を変更または表示するには、[PIN (PIN、半角数字のみ)] フィールドの横にある [クレデンシャルの編集] ボタンをクリックします。

ステップ 3 適切な設定値を入力します ([表 106-2](#) を参照)。

ステップ 4 設定値を変更した場合は、[保存] をクリックします。

追加情報

[P.106-27](#)の「[関連項目](#)」を参照してください。

クレデンシャルの設定値とフィールド

表 106-2 では、エンドユーザおよびアプリケーションユーザのクレデンシャルの設定値について説明します。これらの設定値は、アプリケーションユーザまたはエンドユーザのダイジェスト信用証明書には適用されません。関連する手順については、P.106-27 の「関連項目」を参照してください。

表 106-2 アプリケーションユーザおよびエンドユーザのクレデンシャルの設定値とフィールド

フィールド	説明
[管理者によるロック (Locked by Administrator)]	このアカウントをロックし、ユーザがアクセスできないようにするには、このチェックボックスをオンにします。 アカウントのロックを解除し、ユーザがアクセスできるようにするには、このチェックボックスをオフにします。
[ユーザは変更不可 (User Cannot Change)]	ユーザがこのクレデンシャルを変更できないようにするには、このチェックボックスをオンにします。このオプションは、グループアカウントに対して使用します。 [ユーザは次回ログイン時に変更する必要あり (User Must Change at Next Login)] チェックボックスがオンになっている場合は、このチェックボックスをオンにできません。
[ユーザは次回ログイン時に変更する必要あり (User Must Change at Next Login)]	次回のログイン時に、このクレデンシャルの変更をユーザに要求するには、このチェックボックスをオンにします。このオプションは、一時的なクレデンシャルを割り当てた後で使用します。 [ユーザは変更不可 (User Cannot Change)] チェックボックスがオンになっている場合は、このチェックボックスをオンにできません。
[無期限にする (Does Not Expire)]	このクレデンシャルの変更をユーザに要求しないようにするには、このチェックボックスをオンにします。このオプションは、セキュリティの低いユーザまたはグループアカウントに使用できます。 このチェックボックスをオンにしても、ユーザはいつでもこのクレデンシャルを変更できます。このチェックボックスがオフの場合、関連付けられているクレデンシャルポリシーの有効期限の設定が適用されます。 ポリシー設定で [期限切れなし (Never Expires)] が指定されている場合は、このチェックボックスをオフにできません。

表 106-2 アプリケーション ユーザおよびエンド ユーザのクレデンシャルの設定値とフィールド(続き)

フィールド	説明
[ハック数のリセット (Reset Hack Count)]	このユーザのハック数をリセットして、[失敗したログイン試行によりロックされた時間 (Time Locked Due to Failed Logon Attempts)] フィールドをクリアするには、このチェックボックスをオンにします。カウンタをリセットすると、ユーザは、またログインを試行できるようになります。 ハック数は、クレデンシャルが不正なために認証に失敗すると増えます。 ポリシーで [無制限のログイン失敗 (No Limit for Failed Logons)] が指定されている場合、ハック数は常に 0 になります。
[認証ルール (Authentication Rule)]	このユーザのクレデンシャルに適用するクレデンシャルポリシーを選択します。
[最終変更時間 (Time Last Changed)]	このフィールドには、このユーザのクレデンシャルが変更された最新の日時が表示されます。
[失敗したログイン試行 (Failed Logon Attempts)]	このフィールドには、成功した最終ログイン、管理者によるこのユーザ クレデンシャルのハック数のリセット、または失敗したログイン試行回数のリセット期間経過後、失敗したログイン試行回数が表示されます。
[失敗した最後のログイン試行時間 (Time of Last Failed Logon Attempt)]	このフィールドには、このユーザのクレデンシャルでログイン試行が失敗した最新の日時が表示されます。
[管理者によりロックされた時間 (Time Locked by Administrator)]	このフィールドには、管理者がこのユーザ アカウントをロックした日時が表示されます。
[失敗したログイン試行によりロックされた時間 (Time Locked Due to Failed Logon Attempts)]	このフィールドには、失敗したログイン試行によってユーザ アカウントがロックされた最新の日時が表示されます。失敗したログイン試行によるロックアウトは、関連付けられたクレデンシャル ポリシーによって定義されます。

エンドユーザのユーザ関連情報の設定

新しいエンドユーザを追加した後、そのエンドユーザに関連する追加情報を設定できます。各エンドユーザはこの情報を使用して、電話機の機能、マネージャの設定、アシスタントの設定、Cisco Extension Mobility、Cisco Unified Communications Manager Auto-Attendant、および Cisco IP Softphone 機能を個別に設定することができます。

始める前に

エンドユーザがデータベース内で設定されていることを確認します。詳細については、P.106-2 の「[エンドユーザの検索](#)」を参照してください。

手順

- ステップ 1** P.106-2 の「[エンドユーザの検索](#)」の手順を使用して、アプリケーションプロファイルを設定するエンドユーザを見つけます。ユーザ ID をクリックします。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択したエンドユーザの情報が示されます。

- ステップ 2** このエンドユーザに対して Cisco Unified Communications Manager Assistant のマネージャの設定を行うには、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [マネージャの設定] を選択し、[移動] をクリックします。

このエンドユーザの [Cisco Unified CM Assistant- マネージャの設定 (Cisco Unified CM Assistant-Manager Configuration)] ウィンドウが表示されます。Cisco Unified Communications Manager Assistant の設定の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プロキシ回線サポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」および「シェアドラインサポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」の章を参照してください。

このエンドユーザに対してマネージャの情報を設定した後、このエンドユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに戻ることができます。[Cisco Unified CM Assistant- マネージャの設定 (Cisco Unified CM Assistant-Manager Configuration)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [ユーザの設定に戻る] を選択し、[移動] をクリックします。

- ステップ 3** このエンドユーザに対して Cisco Unified Communications Manager Assistant のアシスタントの設定を行うには、[関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [アシスタントの設定] を選択し、[移動] をクリックします。

このエンドユーザの [Cisco Unified CM Assistant- アシスタントの設定 (Cisco Unified CM Assistant-Assistant Configuration)] ウィンドウが表示されます。Cisco Unified Communications Manager Assistant の設定の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プロキシ回線サポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」および「シェアドラインサポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」の章を参照してください。

このエンドユーザに対してアシスタントの情報を設定した後、このエンドユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに戻ることができます。[アシスタントの設定] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [ユーザの設定に戻る] を選択し、[移動] をクリックします。

ステップ 4 このエンド ユーザのユーザ特権レポートを表示するには、[関連リンク] ドロップダウン リストボックスから [ユーザ特権レポート] を選択し、[移動] をクリックします。

このエンド ユーザの [ユーザ特権 (User Privilege)] ウィンドウが表示されます。ユーザ特権レポートの詳細については、[P.108-11](#) の「[ユーザの権限、ユーザ グループ、およびアクセス権の表示](#)」を参照してください。

このエンド ユーザのユーザ特権レポートを表示した後、このエンド ユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに戻ることができます。[ユーザ特権 (User Privilege)] ウィンドウの [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [ユーザの設定に戻る] を選択し、[移動] をクリックします。

追加情報

[P.106-27](#) の「[関連項目](#)」を参照してください。

エンドユーザとデバイスとの関連付け

エンドユーザにデバイスを関連付け、エンドユーザがそのデバイスのコントロール権を持つようにすることができます。電話機などの一部のデバイスは、エンドユーザが制御できます。CTI ポートなどのその他のデバイスは、ユーザとして指定されるアプリケーションによって制御できます。エンドユーザが電話機のコントロール権を持つ場合、その電話機の特定の設定値（たとえば、短縮ダイヤルや自動転送）を制御できます。



(注)

デバイスが CTI 制御可能でない場合（H.323 デバイスなど）は、使用可能なデバイスのリストで、デバイスアイコンの横にアスタリスク（*）が表示されます。すべてのデバイスの関連付け動作は、機能が設定されているデバイスタイプに関係なく同一になっています。

始める前に

エンドユーザにデバイスを関連付けるには、そのユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウにアクセスする必要があります。既存のエンドユーザを見つける方法については、P.106-2 の「[エンドユーザの検索](#)」を参照してください。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示された後で、デバイスを割り当てる手順は、次のとおりです。

新しいエンドユーザの追加を終了する前に、その新しいエンドユーザにデバイスを関連付けようとししないでください。必ず [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで **[保存]** をクリックしてから、新しいエンドユーザにデバイスとの関連付けを追加してください。

手順

ステップ 1 [デバイスの割り当て (Device Associations)] ペインで、**[デバイスの割り当て]** をクリックします。

[ユーザデバイス割り当て (User Device Association)] ウィンドウが表示されます。

デバイスの検索

ネットワーク内にはいくつかのデバイスが存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager では、固有の条件を指定して、特定のデバイスを見つけることができます。デバイスを見つける手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、検索設定は保持されます。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ステップ 3](#) に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウンリストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウンリストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、**[+]** ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、**[-]** ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、**[フィルタのクリア]** ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

すべてのレコード、または一致したレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウンリスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。

デバイスの関連付け

ステップ 4 [デバイスの割り当て] ペインで、デバイス名の左側にあるボックスをオンにして、このエンドユーザに関連付けるデバイスを選択します。

ウィンドウの下部にあるボタンを使用して、エンドユーザに関連付けるデバイスを選択および選択解除できます。



(注) これらのボタンが機能するのは、前述のステップによるデバイス検索の結果として見つかったデバイスを選択および選択解除する場合だけです。



ヒント このエンドユーザにすでに関連付けられているデバイスを表示するには、[ユーザに関連付けられているデバイスを表示] チェックボックスをオンにします。

ボタンとその機能について次に説明します。

- **[すべてを選択]** : このボタンをクリックすると、このページに表示されているすべてのデバイスが選択されます。
- **[すべてをクリア]** : このボタンをクリックすると、このページに表示されているすべてのデバイスの横にあるチェックボックスがオフになります。
- **[検索のすべてを選択]** : このボタンをクリックすると、ウィンドウの [検索オプション (Search Options)] 部分に指定した検索条件と一致するすべてのデバイスが選択されます。このボタンによって、あらためて検索が行われ、一致するすべてのデバイスが選択されます。
- **[検索のすべてをクリア]** : このボタンをクリックすると、ウィンドウの [検索オプション (Search Options)] 部分に指定した検索条件と一致するすべてのデバイスが選択解除されます。このボタンによって、あらためて検索が行われ、一致するすべてのデバイスが選択解除されます。
- **[選択 / 変更の保存]** : このボタンをクリックすると、選択したデバイスがこのエンドユーザに関連付けられます。
- **[割り当てられているすべてのデバイスを削除]** : このボタンをクリックすると、すでにこのエンドユーザに関連付けられているすべてのデバイスの関連付けが解除されます。このボタンをクリックした後、このエンドユーザからすべてのデバイスとの関連付けを削除することの確認を求めるポップアップ ウィンドウが表示されます。**[OK]** をクリックして、確認します。

ステップ 5 エンドユーザに割り当てるデバイスごとに、前述のステップを繰り返します。

ステップ 6 関連付けを完了するには、[選択 / 変更の保存] をクリックします。

ステップ 7 ウィンドウの右上隅にある [関連リンク] ドロップダウン リスト ボックスから [ユーザの設定に戻る] を選択し、**[移動]** をクリックします。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示され、選択して関連付けたデバイスが [制御するデバイス (Controlled Devices)] ペインに表示されます。

追加情報

P.106-27 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Cisco Extension Mobility プロファイルの関連付け

Cisco Extension Mobility を使用すると、エンドユーザの電話機として一時的に表示されるように、Cisco Unified IP Phone を設定できます。エンドユーザが電話機にログインすると、そのエンドユーザのエクステンション モビリティ プロファイル（回線と短縮ダイヤル番号を含む）が、その電話機上に置かれます。この機能は、エンドユーザに IP Phone が恒常的に割り当てられていない環境で主に使用されます。

エクステンション モビリティ プロファイルをエンドユーザに関連付けるには、そのエンドユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウにアクセスする必要があります。既存のエンドユーザの情報にアクセスする方法については、P.106-2 の「[エンドユーザの検索](#)」を参照してください。エンドユーザに対して Cisco Extension Mobility を設定し関連付ける方法については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco エクステンション モビリティ」を参照してください。

エンドユーザの削除

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでエンドユーザを削除する手順は、次のとおりです。

始める前に

エンドユーザを削除する前に、そのエンドユーザに関連付けられているデバイスまたはプロフィールを削除する必要があるかどうかを判断します。

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウの [デバイスの割り当て (Device Associations)], [エクステンションモビリティ (Extension Mobility)], [電話番号の割り当て (Directory Number Associations)], [CAPF 情報 (CAPF Information)], および [権限情報 (Permissions Information)] の各エリアから、エンドユーザに割り当てられているデバイスおよびプロフィールを表示できます。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウで、[関連リンク] ドロップダウンリストボックスから **[依存関係レコード]** を選択することもできます。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4 の「依存関係レコードへのアクセス」](#) を参照してください。

手順

ステップ 1 [ユーザ管理] > [エンドユーザ] の順に選択します。

[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 特定のエンドユーザを見つけるには、検索条件を入力し、**[検索]** をクリックします。

検索条件と一致するエンドユーザのリストが表示されます。

ステップ 3 次のアクションのいずれかを実行します。

- 削除するエンドユーザの横にあるチェックボックスをオンにし、**[選択項目の削除]** をクリックする。
- **[すべてを選択]** をクリックして **[選択項目の削除]** をクリックし、ウィンドウ内のすべてのエンドユーザを削除する。
- 削除するエンドユーザのユーザ ID をリストから選択して、現在の設定値を表示し、**[削除]** をクリックする。

確認ダイアログが表示されます。

ステップ 4 **[OK]** をクリックします。

次の手順

このユーザが Cisco Unity または Cisco Unity Connection で設定されていた場合、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでユーザを削除すると、Cisco Unified Communications Manager とユーザとの関連付けが破棄されます。孤立したユーザは、Cisco Unity または Cisco Unity Connection の管理で削除できます。詳細については、該当する『*Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、*

■ エンドユーザの削除

変更ガイド』を参照してください。Cisco Unity の詳細については、該当する『Cisco Unity システム アドミニストレーションガイド』を参照してください。ユーザを削除すると、そのユーザのボイスメールボックスにあるすべてのメッセージが削除されます。

追加情報

P.106-27 の「関連項目」を参照してください。

関連項目

- [エンドユーザの検索 \(P.106-2\)](#)
- [エンドユーザの設定 \(P.106-4\)](#)
- [Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメールボックスの作成 \(P.106-6\)](#)
- [エンドユーザの設定値 \(P.106-8\)](#)
- [エンドユーザのパスワードの変更 \(P.106-14\)](#)
- [エンドユーザの PIN の変更 \(P.106-15\)](#)
- [エンドユーザのクレデンシャルの管理 \(P.106-16\)](#)
- [クレデンシャルの設定値とフィールド \(P.106-17\)](#)
- [エンドユーザのユーザ関連情報の設定 \(P.106-19\)](#)
- [エンドユーザとデバイスとの関連付け \(P.106-21\)](#)
- [Cisco Extension Mobility プロファイルの関連付け \(P.106-24\)](#)
- [エンドユーザの削除 \(P.106-25\)](#)
- [アプリケーションユーザの検索 \(P.105-2\)](#)
- [アプリケーションユーザの設定 \(P.105-3\)](#)
- [Cisco Unity または Cisco Unity Connection のボイスメールボックスの作成 \(P.105-5\)](#)
- [アプリケーションユーザの設定値 \(P.105-7\)](#)
- [アプリケーションユーザのパスワードの変更 \(P.105-14\)](#)
- [アプリケーションユーザのクレデンシャルの管理 \(P.105-15\)](#)
- [クレデンシャルの設定値とフィールド \(P.105-16\)](#)
- [アプリケーションユーザとデバイスとの関連付け \(P.105-18\)](#)
- [アプリケーションユーザの削除 \(P.105-19\)](#)
- [LDAP システムの設定 \(P.14-1\)](#)
- [権限の設定 \(P.107-1\)](#)
- [ユーザグループの設定 \(P.108-1\)](#)
- [ユーザの権限、ユーザグループ、およびアクセス権の表示 \(P.108-11\)](#)
- [電話番号の設定 \(P.57-1\)](#)
- [CTI ルートポイントの設定 \(P.79-1\)](#)
- [Cisco Unified IP Phone の設定 \(P.82-1\)](#)
- [クレデンシャルポリシーの設定 \(P.104-1\)](#)
- [クレデンシャルポリシーのデフォルトの設定 \(P.103-1\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「クレデンシャルポリシー」
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「アプリケーションユーザとエンドユーザの設定チェックリストの管理」
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「アプリケーションユーザとエンドユーザ」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「Cisco エクステンションモビリティ」
- 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「デバイスの関連付け」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「ユーザへのユーザデバイスプロファイルの関連付け」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド』の「プロキシ回線サポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」

■ 関連項目

- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「共有回線サポートのある Cisco Unified Communications Manager Assistant」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unity メッセージングの統合」
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「プレゼンス」

関連マニュアル

- Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド
- Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド
- Cisco Unity System アドミニストレーションガイド